

Topic 1 | DXを通じた事業推進について

三井倉庫グループは、物流という社会インフラを担う企業群として、サプライチェーンにおける「情報のデジタル化・見える化」を通じて社会価値を創出すべく、様々なプラットフォームとの連携・共創を進めながら「人の力」と「テクノロジーの力」を融合した「圧倒的な現場力」の構築を目指しております。

その1

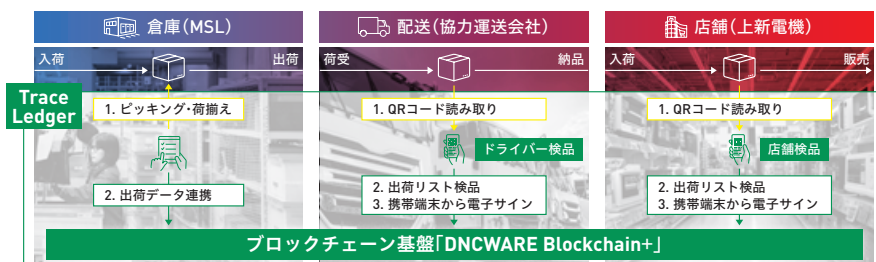
三井倉庫ロジスティクスがブロックチェーン技術※を 活用した物流管理システムを本格稼働

三井倉庫ロジスティクス(以下MSL)が物流運営を支援する家電量販大手の上新電機向けの店舗配送業務において、物流管理システムを段階的に導入し、現在は全国にある上新電機の大多数の店舗で運用を開始しました。この物流管理システムは、LOZI及びZEROBILLBANK JAPANが共同で開発した物流DX支援パッケージ「Trace Ledger」を中核に、東芝デジタルソリューションズのブロックチェーン基盤「DNCWARE Blockchain+」を連携して構築しました。

今後も導入を拡大し、ペーパーレス化によるドライバーの負担軽減や、ブロックチェーン活用による情報管理の透明性の確保、さらにはサプライチェーン全体の最適化につなげていきます。

物流管理システムの概要

本システム導入後、店舗向けの配送におけるドライバー1名あたりの待機時間は、平均45分/日の削減となりました。



三井倉庫ロジスティクス



LOZI



zerobillbank



TOSHIBA

※ ブロックチェーン技術: ブロックと呼ばれる単位でデータを管理し、鎖(チェーン)のように連結して保管することで、一度データを書き込むと上書きができないデータベースを用いた技術。

その2

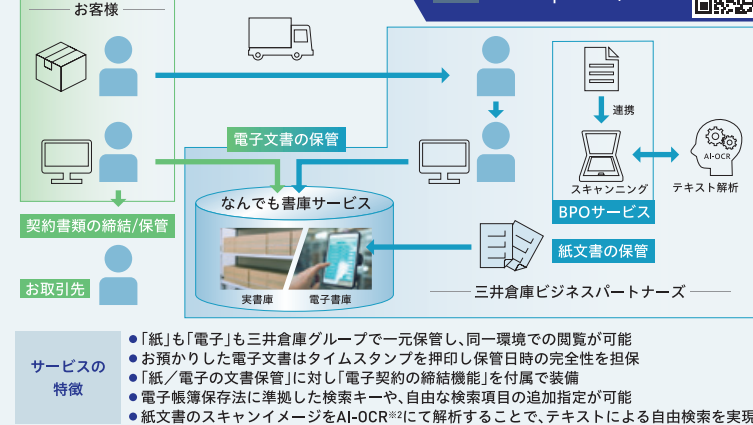
三井倉庫ビジネスパートナーズが紙と電子を 一元管理する「なんでも書庫」のサービスを提供開始

三井倉庫ビジネスパートナーズ(以下MBP)は、紙と電子のドキュメントを一元管理する「なんでも書庫」のサービス提供を開始しました。企業のDX推進やペーパーレス化により、紙と電子文書が混在する状況が進行しており、デジタル・アナログ両方の文書を安全に効率的に管理できるニーズに対応いたします。本サービスを通じ、電子帳簿保存法※1にも準拠した安全で効率的な文書管理の実現を推進してまいります。

「なんでも書庫」のサービスイメージ

MBP「なんでも書庫」WEBサイト

URL www.mbp-co.net/ebook



- 「紙」も「電子」も三井倉庫グループで一元保管し、同一環境での閲覧が可能
- お預かりした電子文書はタイムスタンプを押印し保管日時の完全性を担保
- 「紙」/「電子」の文書保管に対し「電子契約の締結機能」を付属で装備
- 電子帳簿保存法に準拠した検索キーや、自由な検索項目の追加指定が可能
- 紙文書のスキャンイメージをAI-OCR※2にて解析することで、テキストによる自由検索を実現

※1 電子帳簿保存法: 帳簿や請求書等の処理にかかる負担を軽減するため国税関係の書類について一定の条件の下、電子データでの保存を認めるもの。

※2 AI-OCR: 人工知能(AI)のディープラーニングを用いることで飛躍的に読取精度が向上した文字認識(OCR)技術。

Topic 2 | サステナビリティに関する取り組みへの評価

三井倉庫グループはサステナビリティ経営を推進し、体制を強化しながら様々な施策に取り組むとともに開示を拡充しています。また、事業活動を通じて様々なパートナー様と共創し業務効率化・脱炭素化を推進しています。



その1

三井倉庫ホールディングス(以下、当社)がESG投資に関連する外部評価機関から評価を受けています

▶当社がGPIFの投資指数の構成銘柄に選定されました

年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)がESG投資のために採用している指数である「FTSE Blossom Japan Index」、「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄として選定されました。



FTSE Blossom
Japan Index



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

当社はGPIFが採用する以下のESG指数の構成銘柄に選定されています(9月末現在)

- ・FTSE Blossom Japan Index
- ・FTSE Blossom Japan Sector Relative Index
- ・MSCI 日本株ESGセレクト・リーダーズ指数
- ・S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数
- ・Morningstar Japan ex-REIT
- Gender Diversity Tilt Index(GenDi J)

▶MSCI ESG格付けの評価が向上しました

これまでの「A」評価から格上げされ、「AA」評価を獲得しました。MSCI ESG RatingはESG投資の世界的な評価指標とされており、MSCI(モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル社)が企業のESGパフォーマンスを「AAA」から「CCC」まで7段階で格付けするものです。当社の労働マネジメントやコーポレートガバナンスに関する取り組みが評価され、このたび「AA」評価獲得となりました。



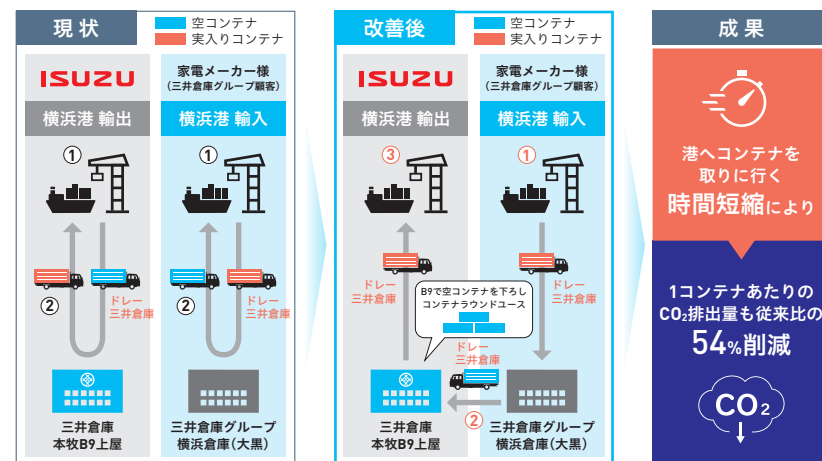
*本ページにおけるMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたは指数名称の使用は、MSCIまたはその関連会社による当社への後援、保証、販促には該当しません。MSCI指数はMSCIの独占的財産です。MSCI指数の名称及びロゴはMSCIまたはその関係会社の商標またはサービスマークです。

その2

三井倉庫が第25回物流環境大賞「特別賞」をいすゞロジスティクスと共同受賞

三井倉庫(以下MSC)は、一般社団法人日本物流団体連合会が主催する「第25回物流環境大賞」^{※1}において、「特別賞」をいすゞロジスティクスと共同で受賞しました。今回2社は、既存の物流スキームにMSCの横浜港内の物流施設をコンテナデポとして活用したコンテナラウンドユース^{※2}を行い、効率的な作業導線を整えることにより「CO₂排出量の削減」「ドライバーの拘束時間の短縮」を実現したことが評価されました。

横浜港湾岸地区での「コンテナラウンドユース」スキーム図



※1 一般社団法人日本物流団体連合会が、物流部門における環境保全の推進や環境意識の高揚等を図り、物流の健全な発展に貢献した団体・企業または個人を表彰することを目的として平成12年6月に創設。

※2 コンテナラウンドユース=輸入コンテナを荷卸した後、港に戻さず空いたコンテナを輸出荷積に利用すること

3 MITSUI-SOKO GROUP Today

Topic 3 | 航空輸送品質認証取得のコミュニティに参画

わたしたちは「共創する物流ソリューションパートナー」を目標に、様々なパートナー様と協業を進めており、このようなコミュニティに積極的に参加しています。

三井倉庫グループが、リチウムイオン電池の航空輸送品質認証「CEIV Lithium Batteries※」の取得を目指し「成田空港コミュニティ」に参画

三井倉庫エクスプレスと三井倉庫サプライチェーンソリューションは、IATA（国際航空運送協会）が策定したリチウムイオン電池の航空輸送品質認証「CEIV Lithium Batteries」の取得を目指し、成田国際空港が主宰する「成田空港コミュニティ」に参画しました。

「CEIV Lithium Batteries」の認証範囲



EV車や電子機器などの市場拡大に伴い、リチウムイオン電池を含む製品の航空輸送が今後も増加する見込みである一方、リチウムイオン電池は危険品であることから、より安全なハンドリングと更なる輸送品質向上が求められています。三井倉庫グループは、グローバル基準に対応した安全管理体制及び品質管理体制の強化、スタッフの教育、各種手順書の作成、リスクの評価等に取り組んでまいります。



※ CEIV Lithium Batteries (The Center of Excellence for Independent Validators in Lithium Batteries): IATAが策定したリチウムイオン電池の航空輸送品質認証プログラム。高い安全輸送品質を保ったサプライチェーンの構築を目的とし、リチウムイオン電池の航空輸送におけるグローバルでの統一基準により、安全性、セキュリティ、コンプライアンス、効率性を確保しています。

Topic 4 | 社内評価制度の拡充について

三井倉庫グループにおいて「人材」は価値創造の源泉です。グループ全体での評価活動を通じ、従業員一人ひとりが誇りとやりがいを持ち最大限能力を発揮できる環境を目指していきます。

三井倉庫グループはグループ内表彰制度「Best Practices Award」に、新たに日常業務を通じて周囲の人をサポートし多くの当社グループ従業員から感謝され、企業価値向上に貢献している個人を社内推薦により表彰する「MSP※部門」を新設いたしました。グループ内表彰制度「Best Practices Award」は2017年に創設されましたが、新設部門を加え以下の3部門構成での表彰制度となり、対象もあらゆる業務へ拡大いたしました。



今後もグループ内表彰制度「Best Practices Award」の開催を通じ、社員一人ひとりの力を最大限に発揮できる環境を整備し、グループ全体の競争力と企業価値の向上につなげていきます。



MSP部門の受賞者へ渡された記念盾

三井倉庫ホールディングス本社受付に展示している、過去の「Best Practices Award業務改善部門」の最優秀賞プレート



※ MSP: Most Supportive Personの略

GROUP-News

三井倉庫グループ東京地区本社の統合・移転のお知らせ

三井倉庫グループの東京地区の各本社は、グループのコミュニケーションの活性化、意思決定の迅速化を目的に、現在都内3拠点に分かれている東京地区のグループ各本社オフィスを、2025年5月に新オフィス(MSH日本橋箱崎ビル)に統合・移転する予定です。

統合された新オフィスにおいて、会社を超えたつながりを生み出すことにより、持続的な成長と企業価値の向上を目指します。

MSH日本橋箱崎ビル

5Fラウンジ
ー共有スペースー
(イメージ)カフェテリア
ー共有スペースー
(イメージ)

●新オフィス | MSH日本橋箱崎ビル

〒103-0015

東京都中央区日本橋箱崎町19番21号

- ・東京メトロ | 半蔵門線水天宮前駅より徒歩3分、東西線・日比谷線茅場町駅より徒歩8分、日比谷線・都営浅草線人形町駅より徒歩12分
- ・床面積: 10,341.66㎡ (3,128.37坪 3フロア合計)
- ・稼働開始日: 2025年5月(予定)

(注1) 本社が大阪市の三井倉庫トランスポート(株)は変更ありません。

(注2) 統合・移転に伴う、都内所有物件のMSC御成門ビル及びMSCセンタービルの一部リーシングも進めております。

●統合・移転する持株会社・事業会社名

- ・三井倉庫ホールディングス(株)
- ・三井倉庫(株)
- ・三井倉庫エクスプレス(株)
- ・三井倉庫ロジスティクス(株)
- ・三井倉庫サプライチェーンソリューション(株)

IR-News

三井倉庫グループのディスクロージャー誌発刊のお知らせ

「バリューレポート2024(統合報告書)」「サステナビリティデータブック2024(サステナビリティ報告書)」の2誌を発刊いたしました。

当社における2050年のありたい未来像から逆算し、深化させたマテリアリティ(※本誌ビジネスレポートのP07-08に掲載)とビジネスモデルを中心に価値創造ストーリーを掲載しています。今後も、総合的な経営情報の開示を通じて、共創につながる経営を実践してまいります。

バリューレポート2024


www.mitsui-soko.com/ir/library/integrated_report/


サステナビリティデータブック2024


www.mitsui-soko.com/ir/library/sustainability_report/
冊子
お申込み

「バリューレポート2024(統合報告書)」の印刷冊子の配送をご希望の方は、企業刊行物の無料請求サイト「エコほっとライン」にて登録・請求ください。

※当社は冊子配送業務を、(有)インフォワードに委託しています。ご記入いただく個人情報の取り扱いにつきましては「エコほっとライン」の記載事項をご確認ください。QRコードのリンク先は「エコほっとライン」へ遷移します。



IRカレンダーについて

決算発表	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
配当金支払												
株主総会												
発行物												

●期末決算

●第1四半期決算

●第2四半期決算

●第3四半期決算

●期末配当

●中間配当

●総会資料発送

●株主総会

●ビジネスレポート発行

●中間ビジネスレポート発行

●バリューレポート/サステナビリティデータブック発行